

平成26年7月10日(木) 2校時
指導者 教諭 岡村 眞理
場所 1年1組教室

1 本研究授業の提案

- (1) 挿絵と文章をつなぎながら、行動や会話を手がかりに人物の気持ちを読み取らせる。
- (2) 読み取ったり想像したりしたことを交流することで多様な見方ができることに気付かせる。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 多様な考えを引き出しねらいにせまる発問を工夫する。
- (2) 主体的に学習に取り組ませるための単元構成を工夫する。

3 本研究授業で取り入れた言語活動

- (1) 行動や会話文を手がかりにして、人物の気持ちを読み取ったり想像したりする。
- (2) 友達と交流することで、互いの考えの類似点や相違点に気付く。

4 単元名 おおきなかぶ

5 単元の目標

- 場面の様子を想像しながら、お話のおもしろさを楽しんで読む。
- 読み取ったことを生かすように工夫して音読する。

6 指導計画 (本時 4 / 6 時間)

次	時	主 な 言 語 活 動
一	①	全文を通読し、お話の大体をとらえる。 ・最後に音読劇を行うことことを知らせ、単元の学習計画を立てる。 ・登場人物をとらえ、どんなお話であるかを読み取る。
二	②～④ 本時④	場面ごとに、様子や気持ちを想像して音読する。 ・かぶに込めたおじいさんの願いや、できたかぶの様子を読み取り、音読する。 ・かぶが抜けないときや、やっと抜けたときの気持ちを想像し、音読する。
三	⑤⑥	学習を振り返る。 ・様子や人物の気持ちが表れるように工夫して音読劇をする。

7 本時の展開

- (1) ねらい
 - かぶがぬけたときの人物の気持ちを想像しながら読み取ることができる。
- (2) 指導過程

	学習活動	指導事項・留意点・評価
導入	1 学習課題を確認する。 かぶが抜けたときのみんなの気持ちを考えよう。	・本時は、かぶが抜けるまでの場面の様子や人物の気持ちを読み取っていくことを共通理解させる。
展開	2 本時の学習範囲を音読する。 (P 77 L 1～P 77 L 9のみ) 3 かぶをひっぱっている順序を確認する。 ○かぶを引っ張っているとき、どんな順序で引っ張っていたかを確認しましょう。 4 「うんとこしょ、どっこいしょ。」の読み方を工夫する。 ○「うんとこしょ、どっこいしょ。」は、どのように読んだら様子が伝わるか、工	・かぶが抜ける前までの部分を音読させる。 ・おじいさんが一人で引っ張ったときと違うことに気付かせる。

	夫して読んでみましょう。 5 本時の学習範囲を音読する。 (P 7 7～P 7 9) 6 かぶが抜けたときの気持ちを想像し、発表する。 (1) 自分の考えを書く。 ◎かぶが抜けたとき、みんなは何と言ったのか、ノートに書きましょう。 (2) ペア学習でお互いの考えを伝え合う。 ○隣同士で、書いたことを発表し合ひましょう。 (3) 考えを発表し合う。 ○みんなの考えを発表してもらいます。 ・やっとなげた。 ・がんばってよかった。 ・みんなでたべよう。 ・てつだってくれてありがとう。 7 「やっとな、かぶはぬけました。」の読み方を工夫する。 ○「やっとな、かぶはぬけました。」は、どのように読んだら気持ちが伝わるか、工夫して読んでみましょう。	・登場人物の役になって表現読みをさせる。 ・かぶが抜けた部分まで全てを音読させる。 ・人物や動物たちの会話を想像して書かせる。その中の誰かに限定してもよいことを説明する。 ・机間指導しながら、子供の考えを評価すると共に、意図的指名につなげるために子供の考えを類別する。 ・意図的指名によって、発言を組織化する。 評価 かぶがぬけたときの人物の気持ちを想像して書いている。 (ノート、発表) ・「やっとな」に込められた、苦労した後の充実感や安堵感が表れるように工夫させる。 ・本時で読み取ったことが表れるように工夫して音読させる。
まとめ	8 本時の読み取りを生かして、学習範囲を音読する。	

(3) 板書計画

やっとな、かぶはぬけました。 ・やっとな。 ・やっとなげた。 ・がんばってよかった。 ・みんなでたべよう。 ・てつだってくれてありがとう。	挿絵②	「うんとしよ、どっこいしよ。」 挿絵①	かぶがぬけたときのきもちをかんがえよう。
---	------------	-----------------------------------	-----------------------------

(4) 本時の評価

具体的評価規準	場面の様子や気持ちを想像しながら読み取り、書いている。
Aと判断する姿	これまでのやりとりを振り返り、場面の様子や気持ちを豊かに想像しながら読み取り、書いている。
Cへの手立て	挿絵を手がかりに、場面の様子や気持ちを想像させる。